国 際 ベ ト ナ ム 語 能 力 試 験

INTERNATIONAL VIETNAMESE PROFICIENCY TEST

第６回受験要項

日本会場

主　催　：VTS　VTS JAPAN

後　援　：大阪大学　神田外語グループ

Website：https://vts-japan.jp/
Ｅｍａｉｌ：info@vts-japan.jp
電　話　：06-7220-4011

2023/11/27

目　次

1. 第 6 回国際ベトナム語能力試験日程表 ..... - 2 -
2. iVPT 紹介 ..... - 3 -
3. 出願資格 ..... - 4 -
4. 試験の種別、科目、試験方式、受験料 ..... - 4 -
5. 出願方法、期限と定員 ..... - 4 -
6. インターネット出願の流れ ..... - 5 -
7. 受験料の支払い方法 ..... - 8 -
8. 申込後のキャンセル・返金について ..... - 9 -
9. 試験時間割 ..... - 10 -
10. 【初級 A レベル】試験科目、出題形式、時間と配分 ..... - 11 -
11. 【中級 B レベル】試験科目、出題形式、時間と配分 ..... - 12 -
12. 【上級 C レベル】試験科目、出題形式、時間と配分 ..... - 13 -
13. 各試験会場について ..... - 14 -
14. 成績通知と証明書発行申請について ..... - 14 -
15. iVPT 受験者の成績総得点とレベル基準対照表 ..... - 15 -
16. iVPT 受験注意事項 ..... - 18 -

VTS JAPAN は各日程、規定等の事項変更の権利を有しており、本案内で告示した事項に変更があった場合は、最新の案内を基準とします。VTS JAPAN ウェブサイトで最新情報を随時確認してください。

1. 第 6 回国際ベトナム語能力試験日程表

事　項		日　程	備　考
1	要項の公布	2023 年 11 月 27 日（月）	要項はインターネットに掲載。 ファイルダウンロードが可能。
2	出願期間	2023 年 12 月 1 日(金) 午前 10：00 ～ 2023 年 12 月 22 日(金) 午後 23：00	インターネットによる出願。 当日会場での申込は受け付けない。
3	受験票公布、 ダウンロード	2024 年 1 月 31 日（水）	受験者は各自インターネットよりダウンロードし、プリントアウトして持参すること。別途受験票の郵送はしない。
4	試験日	2024 年 2 月 11 日（日・祝）	Aレベル（初級）・ Bレベル（中級）・ Cレベル（上級）の試験を行う。
5	成績発表と 成績再審査	2024 年 3 月 29 日（金）	①登録メールアドレスに成績を送付。 ②成績再審査の受付を開始。
		2024 年 4 月 15 日（月）	成績再審査請求の最終日。

※ 成績発表日と成績再審査請求締切日は、受験者の人数等の事情によって遅れる場合がある。

2. iVPT 紹介

「国際ベトナム語能力試験」(International Vietnamese Proficiency Test; Kỳ Thi Năng Lực Tiếng Việt Quốc Tế) は、台湾国立成功大学ベトナム研究センター及び社団法人台越文化協会の共同研究開発に端を発するベトナム語能力認定制度である。台湾教育部及び、大阪大学、ベトナムハノイ国家大学、ホーチミン市国家大学、社会科学アカデミー、ハノイ大学、アメリカハーバード大学、オーストラリア国立大学等、国内外の多数の大学やベトナム語教育機関に認可されている。

VTS（Vietnamese Testing Service）は、台湾国立成功大学ベトナム研究センター及び社団法人台越文化協会が共同で設立し、「国際ベトナム語能力試験」を主催する機関である。「国際ベトナム語能力試験」実施を希望する各国の団体は、いずれも「国際ベトナム語能力試験」の運営に参加申請することができる。現在、日本の一般社団法人 VTS JAPAN、大阪大学及び神田外語グループが参加している。

「国際ベトナム語能力試験」は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）と 2015 年 9 月 1 日付けベトナム教育訓練省通知（17/2015/TT-BGDĐ）によるレベル分けの基準に従い、3 レベル 6 級に分けられる。具体的には以下の通りである。A1 基礎級レベル、A2 初級レベル、B1 中級レベル、B2 中上級レベル、C1 上級レベル、C2 専門レベル。

受験登録の際、受験希望者は初級レベル（A）、中級レベル（B）、上級レベル（C）の中からレベルを 1 つ選び、試験の結果によって、A1 あるいは A2、B1 あるいは B2、C1 あるいは C2 の等級に分けられる。初級試験は聴解と読解の 2 科目、中級及び上級は読解・聴解・筆記・口述の 4 科目からなる。

第 6 回国際ベトナム語能力試験受験要項

3. 出願資格

国籍、人種、民族、性別、身分、職業を問わず出願が可能。

4. 試験の種別、科目、試験方式、受験料

説明 種別	試験科目	試験方式	インターネット出願料
A レベル （初級）	1. 聴解試験 2. 読解試験	選択問題 （マークシート）	5,000 円
Bレベル （中級）	1. 聴解試験 2. 読解試験 3. 筆記試験 4. 口述試験	1. 2. 選択問題 （マークシート） 3. 筆記 4. 口述	9,000 円
Cレベル （上級）	1. 聴解試験 2. 読解試験 3. 筆記試験 4. 口述試験	1. 2. 選択問題 （マークシート） 3. 筆記 4. 口述	11,000 円

5. 出願方法、期限と定員

インターネットで出願を受け付ける。今回の試験では、受験定員は会場の受け入れ定員に従い、定員に達した場合はウェブサイトで告知する。試験の質を保つため、VTS, VTS JAPAN は受験者を審査する権限を有する。

受験にあたり特別な措置が必要となる特殊受験者（身体障がい等）の場合、出願前に会場設備の対応可否を VTS JAPAN に確認の上、出願すること。

試験の時間割が変更になった場合、iVPT ウェブサイト https://vts-japan.jp/ の内容を基準とする。その他、当日の悪天候等により試験の実施が困難な場合の対応など、重要な告知はウェブサイト上で行うため、各自最新情報を確認すること。

6. インターネット出願の流れ

出願希望者は規定の期限内に受験料の支払いを済ませ、受験料振り込みが確認できるものを含む出願情報を入力登録した時点で出願完了となる。

（1）インターネット出願の注意事項

「iVPT」出願システムはワールド・ワイド・ウェブ（www）上での操作システムで、受験者は Google Chrome, Opera, Firefox, Microsoft Edge のブラウザでインターネット出願を行うことができる。ブラウザ画面解析度 1024x768 以上。

（2）出願情報

出願の際は以下の情報の入力登録が必要になる。余裕を持って準備し、規定の期限内に入力登録ができるように心がけること。

1. 氏名
2. ふりがな
3. 生年月日（数字 8 桁で入力）
4. 郵便番号
5. 住所
6. 電話番号
7. メールアドレス
8. 受験する受験会場
9. 出願するレベル
10. 顔写真データ（詳細は 6 ページ参照）
11. 氏名及び生年月日が確認できる顔写真つき身分証明書データ
    （例：免許証、パスポート、学生証等）
12. 受験料振込が確認できる資料のデータ

※ 10～12 は jpg, jpeg, png, pdf のいずれかの形式でそれぞれ 1MB 以下のデータを用意すること。

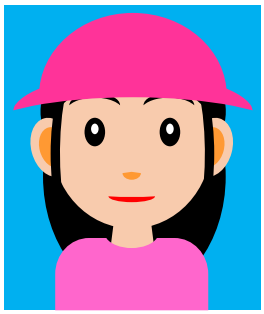
（3）顔写真データの注意事項

顔写真は試験当日に本人確認のために使用する。以下の要件を満たしたデータを提出すること。

- 受験者本人のみを撮影したもの
- 出願時より 3 ヶ月以内に撮影したもの
- カラー写真
- 帽子、マスクを外し、正面から撮影したもの
- 当日メガネを着用して受験する場合、メガネを着用して撮影したもの
- 顔が写真全体の約 3/4 を占めるもの
- Jpg, jpeg, png, pdf のいずれかの形式であるもの
- データサイズが 1MB 以下であるもの

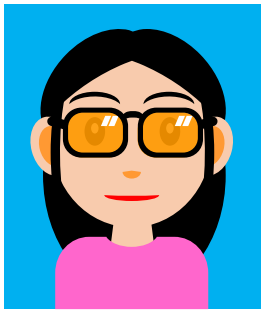
使用できない顔写真の例：

目を閉じている



帽子を被っている

マスクを着けている



サングラスをかけている

（4）インターネット出願の流れ

受験要項を熟読し、出願するレベルの受験料を確認する

⬇

受験料を振込む

⬇

①顔写真、②顔写真付き身分証明データ、
③受験料振込を証明する書類データの３点を準備する

⬇

iVPT 出願サイトにアクセスする
https://vts-japan.jp/

⬇

インターネット出願フォームの各項目を入力し、確認後送信する

⬇

出願完了後、登録のメールアドレスに
自動返信メールが届いていることを確認する。
（迷惑メールフォルダに振り分けられていることがあるため、注意する。）

- 受験者情報や受験種別に間違いがないよう注意すること。
- 出願情報に誤りがないか再確認すること。インターネット出願情報に基づいて連絡や出願資料送付を行う。
- 受験料を振り込んだものの何らかの理由で期限までに出願が完了できなかった場合、手数料を差し引いた上で返金に応じる。

7. 受験料の支払い方法

受験料は、以下の銀行口座に直接振り込むこと。

金融機関	株式会社ゆうちょ銀行
名　　義	一般社団法人　VTS JAPAN
口座番号	(記号) １４０６０　(番号) ７５０１４３８１
	他金融機関からの振込の場合 (店番) ４０８ (預金種目) 普通預金 (口座番号) ７５０１４３８

※　受験料振込が確認できるものの画像を出願サイトにアップロードすること。

※　振込手数料は、受験者が負担すること。

8. 申込後のキャンセル・返金について

受験申込後のキャンセル・返金について、以下のように規定する。

（1）受験申込期間中にキャンセルを申し出た場合：
返金手数料 **1,000 円**を差し引いた上で返金する。

（2）受験申込期間終了後にキャンセルを申し出た場合：
原則として返金を行わない。

（3）試験当日の悪天候、天災等により試験実施が困難であると VTS JAPAN が判断した場合：
試験が行われなかった会場の受験者に対して、返金手数料 **1,000 円**及び実施準備に係る諸経費 **2,000 円**（合計 **3,000 円**）を差し引いた金額を返金する。試験の実施中止及び返金を行う場合、VTS JAPAN ウェブサイト上で告知を行うため、各自こまめに確認すること。なお、公共交通機関の運行状況については、試験会場近辺のみを試験実施可否の考慮に入れる。個々の受験者の自宅等からの公共交通機関の不通による返金には応じない。

※ 上記(1)または(3)に該当してキャンセル及び返金請求を行う場合、受験手数料返還申立書を送付するため、氏名、受験番号を記載の上連絡をすること。
※ 上記キャンセル・返金については、受験申込完了時点で同意したものとみなす。

9. 試験時間割

時限	試験科目/出題タイプ	配点	試験時間	試験方式
9:30-9:50	受験者入室時間			
9:50-10:00	受験上の注意事項説明			
第 1 限 10:00-10:40	A レベル（初級） 聴解試験･読解試験	100 点	約 40 分	マークシート
10:40-11:00	休憩			
11:00-11:10	受験者入室時間			
11:10-11:20	受験上の注意事項説明			
第 2 限 11:20-12:30	B レベル（中級）/ C レベル（上級） 聴解試験･読解試験	200 点	約 70 分	マークシート
12:30-13:30	昼休み			
13:30-13:40	受験上の注意事項説明			
第 3 限 13:40-14:20	B レベル（中級）/ C レベル（上級） 筆記試験	100 点	40 分	筆記
14:20-14:30	休憩			
14:30-14:40	受験上の注意事項説明			
第 4 限※ 14:40-16:00	B レベル（中級）/ C レベル（上級） 口述試験	100 点	約 7 分	口述

※　第 4 限の B レベル及び C レベルの口述試験は、案内された受験者から順に受験し、試験が終了した者から帰宅する。全体の終了時間は受験者の人数により前後する。待機中は携帯電話等の外部と連絡を取ることができる通信機器を使用することはできない。

10.【初級 A レベル】試験科目、出題形式、時間と配分

(1) 総得点は 100 点満点。
(2) 試験科目は聴解試験と読解試験で、同一時限内に行い、試験時間は 40 分以内とする。聴解試験時間は約 20 分であるが、実録音時間によって前後する。聴解試験終了の指示が聞こえたら、直ちに解答を終了すること。
(3) 聴力試験終了後、試験監督員が読解試験を始めるよう指示する。解答時間は 20 分、20 分が過ぎたら直ちに解答を止めること。
(4) 選択問題は全て単一選択問題で、正解は 1 つのみである。正解の場合は加点され、誤りの場合は減点されない。

内容と形式	試験時間	配点
(a)聴解試験（単一選択問題 20 問） 1. 聞き取りによる選択問題-8 問 Nghe và chọn đáp án 2. 絵を見て答える選択問題-6 問 Xem tranh và chọn đáp án 3. 会話理解-6 問 Nghe hiểu hội thoại	約 20 分 実際の試験内容により多少前後	50 点
(b)読解試験（単一選択問題 20 問） 1. 絵を見て答える選択問題-8 問 Xem tranh chọn đáp án 2. 語句補充-8 問 Điền từ vào chỗ trống 3. 短文理解-4 問 Đọc hiểu	約 20 分	50 点
	合計約 40 分	総得点 100 点

11.【中級 B レベル】試験科目、出題形式、時間と配分

(1)総得点は 400 点満点。
(2)読解・筆記問題の試験時間はそれぞれ 40 分。聴解試験時間は約 20 分であるが、実録音時間によって前後する。聴解試験終了の指示が聞こえたら、直ちに解答を終了すること。
(3)選択問題は全て単一選択問題で、正解は 1 つのみである。正解の場合は加点され、誤りの場合は減点されない。
(4)筆記問題の内容は、(a)与えられた 1 語を用いて作文する 1 文作文、(b)与えられた 5 語を用いて作文する 80～100 語（音節）の作文である。
(5)口述問題の内容は、(a)絵を見て作話、(b)テーマに沿った口述である。絵を見て作話は、与えられた絵の内容にしたがってベトナム語で作話する。準備時間は 30 秒、回答時間は 1 分である。テーマに沿った口述は、ベトナム語で書かれたテーマに沿って、ベトナム語で意見を述べる。準備時間は 1 分、回答時間は 2 分である。

内容と形式	試験時間	配点	
聴解試験（単一選択問題 25 問） (a) 会話選択問題（16 問） (b) 短文選択問題（9 問）	約 20～30 分	(a) 64 点	(b) 36 点
		小計 100 点	
読解問題（単一選択問題 40 問） (a) 語彙・文法問題（25 問） 1. 語彙問題（15 問） 2. 文法問題（10 問） (b) 読解問題（15 問）	40 分	(a) 62.5 点	(b) 37.5 点
		小計 100 点	
筆記問題 (a) 1 文作文（8 問） (b) 短文作文（2 問）	40 分	(a) 56 点	(b) 44 点
		小計 100 点	
口述問題（2 問） (a) 絵を見て作話（1 題）： （準備時間 30 秒、回答時間 1 分） (b) 口頭発表（1 題）： （準備時間 1 分、回答時間 2 分）	約 7 分	(a) 50 点	(b) 50 点
		小計 100 点	
		総得点：400 点	

12.【上級 C レベル】試験科目、出題形式、時間と配分

(１)総得点は 400 点満点。
(２)読解・筆記問題の試験時間はそれぞれ 40 分。聴解試験時間は約 30 分であるが、実録音時間によって前後する。聴解試験終了の指示が聞こえたら、直ちに解答を終了すること。
(３)選択問題は全て単一選択問題で、正解は 1 つのみである。正解の場合は加点され、誤りの場合は減点されない。
(４)筆記問題の内容は、(a)絵を見て作文、(b)自由作文である。
(５)口述問題の内容は、テーマに沿った口述である。ベトナム語で書かれたテーマに沿って、ベトナム語で意見を述べる。準備時間は 2 分、回答時間は 3 分である。

<table>
<tr><th>内容と形式</th><th>時間</th><th colspan="2">配点</th></tr>
<tr><td rowspan="2">聴解（25 問）
（a）会話を聞いて選択（9 問）
（b）文章を聞いて選択（16 問）</td><td rowspan="2">約 30 分</td><td>（a）36 点</td><td>（b）64 点</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計 100 点</td></tr>
<tr><td rowspan="2">読解（40 問）
（a）語彙と文法（15 問）
1．語彙（10 問）
2．文法（5 問）
（b）読解（25 問）</td><td rowspan="2">40 分</td><td>（a）37.5 点</td><td>（b）62.5 点</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計 100 点</td></tr>
<tr><td rowspan="2">筆記
（a）絵を見て作文（1 問）
（b）自由作文（1 問）</td><td rowspan="2">40 分</td><td>（a）50 点</td><td>（b）50 点</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計 100 点</td></tr>
<tr><td>口述（1 問）
テーマに沿った口述（1 問）
（準備 2 分、口述 3 分）</td><td>約 7 分</td><td colspan="2">100 点</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">総得点：400 点</td></tr>
</table>

13.　各試験会場について

（１）今回の会場は、神田外語学院（東京）と大阪大学箕面キャンパス（大阪）の二箇所で実施予定である。試験実施教室は、VTS JAPAN が指定した受験票記載の教室に従う。受験票は各自ダウンロードのうえ、プリントアウトして持参すること。別途受験票の送付は行わない。

（２）会場への交通等については、各自会場のウェブサイト等で調べ、当日は早めに試験実施教室に到着して座席を確認すること。開場までは教室の外で待機すること。

14. 成績通知と証明書発行申請について

（１）iVPT 全種目の受験者は、規定を満たしていれば、成績のいかんに関わらず、定められた日時にメールにて送付された成績表を確認、プリントアウトすることができる。今回、試験成績表はメール送付により行うこととし、郵送による送付はしない。

（２）iVPT 全種目の受験者は、成績が本検定等級認定の基準に達している場合、試験日から 2 年以内に iVPT 証明書の発行を申請することができる。証明書発行手数料は一部 1,000 円、申請表到着後 15 営業日で普通郵便にて送付する。

（３）証明書の発行を申請する場合、「受験料の支払い方法」に記載されている銀行口座に必要な部数の手数料を支払い、①氏名、②生年月日、③郵便番号、④住所、⑤電話番号、⑥メールアドレス、⑦受験番号、⑧成績発行するレベル、⑨必要部数を記載し、振込が確認できる資料のデータを添付の上、info@vts-japan.jp までメールにより申し込むこと。

※　振込手数料は、受験者が負担すること。

15. iVPT 受験者の成績総得点とレベル基準対照表

（１）　【A レベル初級】等級と試験成績対応表

等級	総得点※ （100 点満点）	説明
A 1 基礎レベル	60≦総得点≦79	よく使われる日常的用語と語彙を理解し、それを用いて具体的な要求を満たすことができる。自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人情報について、質問したり、答えたりできる。もし相手がゆっくり、はっきりと話し、助け舟を出してくれるなら、簡単なやりとりをすることができる。
A 2 初級レベル	80≦総得点≦100	直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる（たとえば、ごく基本的な個人情報や家族の情報、買い物、近所の地理環境、仕事など)。簡単で日常的な作業においてコミュニケーションが取れ、身近で日常的な事柄について、簡単で直接的な情報交換を行うことができる。自分の背景、身の回りの状況および直接的な必要性のある事柄について、簡単な言葉で説明できる。

※　総得点が 60 点以上の場合に限り、レベル証明書の申請が可能。

（２）　【B レベル中級】等級と試験成績対応表

等級	総得点※ （400 点満点）	説明
B1 中級レベル	240≦総得点≦319	一般の職場、学校、レジャーなど見慣れた身近なものの明瞭で標準的な情報の要点を理解できる。対象言語の地域を旅行する場合、考えられるほとんどの状況に対処できる。身近なトピックや個人的な興味のあるトピックについて、シンプルで一貫性のある文章を作成できる。経験、出来事、夢、希望、抱負を説明でき、意見や計画について、簡単に理由と説明を述べることができる。
B2 中上級レベル	320≦総得点≦400	特定の抽象的なトピックに関する複雑なテキストの要点が理解できる。これらのトピックは、個人の専門分野における技術的な議論をカバーする。ネイティブスピーカーと頻繁にやり取りができ、ある程度の流暢さを持って、相手を緊張させない。多数のトピックについて明確で詳細な文章を作成し、各議題についてその論点を説明でき、様々なオプションの長所と短所を説明できる。

※　聴解・読解・筆記・口述のいずれの科目も 50 点以上であり、且つ総得点が 240 点以上の場合に限り、レベル証明書の申請が可能。

（３） 【C レベル上級】等級と試験成績対応表

等級	受験者の合計点数※ （400 点満点）	解説
C1 上級レベル	240≦合計点数≦319	広範な分野の高度な内容の長文を理解することができ、含意をくみ取ることができる。言葉を探しているという印象を与えることなく、流暢で自然な表現ができる。社交、学術、職業上の目的に応じた、柔軟で効果的な言葉遣いができる。複雑なテーマについて、明解でしっかりした構造の詳細な文書を書くことができる。様々な表現様式、接続表現、文を構成する語句の運用能力がある。
C2 専門レベル	320≦合計点数≦400	聞いたり読んだりした全ての情報を容易に理解することができる。様々な話し言葉、書き言葉の情報をまとめ、一貫した方法で論述と説明を再構成できる。より複雑な状況下で非常に流暢で正確に言いたいことが言え、細かい含意を区別することができる。

※ 聴解・読解・筆記・口述のいずれの科目も 50 点以上であり、且つ総得点が 240 点以上の場合に限り、レベル証明書の申請が可能。

16. iVPT 受験注意事項

一般注意事項

1. 受験者は受験票（各自プリントアウトして持参すること)、顔写真付きの身分証明書類(運転免許証、パスポート、学生証など）原本、HB 以上の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、時計（アラーム機能や外部との通信機能を持たないもの）を持参して受験すること。
2. 受験票を忘れた場合、受付で再発行を行う。この時、顔写真付きの身分証明書類が必要となるため、受付で提示すること。
3. 受験生は受験票、身分証明書類、筆記具、消しゴム、アラーム機能や外部との通信機能を持たない時計および補聴器などの医療器具(出願時に申し出て、許可を得た上で使用することができる)以外の、受験に不用な物品を机の上に置いてはならない。
4. 受験に不用な物品とは、受験要項、書籍、紙、定規、筆箱、鞄、および通信、撮影、録音、記録、音が出るなどの機能をもち、会場の静粛を妨げたり、試験の公平性を損ない得る各種物品・機材(携帯電話、ラジオ、レコーダー、MP3 プレーヤー、目覚まし時計、アラームが鳴る腕時計、電子辞書などを含む）であり、これらの電子装置を携行している場合は、アラーム設定を解除し電源を切ること。試験実施中にこれらの装置の電源が入っていたことが判明し、試験監督者の警告に従わない場合、退場させ、当該科目を零点とする。

試験中の注意事項 (試験監督者が試験の開始を宣言してから試験終了まで)

1. 定められた受験者入室時間中に、受験者は教室へ入室し席順を確認することができる。入室の際、受験番号で指定された座席に着席すること。着席したら受験番号と机上に示された番号が一致しているか確認すること。指定された座席以外の場所に着席していることが試験中に判明した場合、直ちに退室させ、当該科目を零点とする。
2. 試験中は受験票を机上の指定場所に置き、試験監督者が確認できるようにすること。
3. 試験開始時点以降の入室は認めない。
4. 試験中に試験問題、解答用紙を持ち出したり、あるいは持ち出そうとしたり、試験中に録音しようとしたりした場合、受験資格を取り消し、また、VTS の著作権を侵したとみなし、5 年間、VTS が行う試験への受験を認めない。場合により法的手続きをとることもある。
5. 試験中、携帯電話、ストップウォッチおよびその他の電子装置を操作したり、音(振動を含む)を出したりしてはならない。違反した場合、当該科目を零点とする。試験監督あるいは試験担当者は、試験場の秩序を乱し、公正な試験の実施を妨げる可能性のある事態に遭遇した場合、その場で必要な措置を取ることかできる。たとえば、音が出る物品や鞄を試

験場から持ち出して調べることができる。

6. 試験中、試験場で飲食(ガムを含む)や喫煙をしたり、試験場の秩序を乱したり、他の受験者の解答に影響を与えてはならない。違反した者は、受験資格を取り消す。
7. 試験中に体調が悪くなったりトイレに行きたくなったりした場合、試験時間に影響するため、時間の延長は認めない。

解答時の注意事項

1. 解答する前に、監督者の指示に従い、解答用紙および問題冊子に欠落がないか点検すること。万が一、誤り、汚損、印刷の不鮮明、ページの脱落などがあった場合、解答に影響する恐れがあるので、直ちに挙手をして監督者に申し出ること。
2. 問題冊子、解答用紙は試験終了時に試験監督者が回収する。受験者はこれを試験実施教室の外に持ち出してはならない。違反した者は、上記の規定により、当該科目を零点とする。
3. 試験中は、解答用紙の所定の場所に解答を記入する、あるいは問題冊子にメモを取ることはできるが、受験票、文具、机、身体およびその他の物品などの場所に、試験に関わるいかなる文字や符号等も書きつけてはならない。違反した場合は当該科目を零点とする。
4. 受験者は、周囲を見回す、他の受験生の解答を覗く、会話を交わす、メモ等を見る、他の受験生の解答を写す、他の受験者に解答を見せる、解答を口に出して言う、他の受験生に暗号で解答を知らせるなどの不正行為を行ってはならない。制止の指示に従わない場合は、試験教室から強制的に退去させ、当該科目を零点とする。第三者に受験を依頼した者、および引き受けた者は 3 年の期間にわたり、VTS が実施する試験を受験することができないほか、規定に従って処分を決定する。
5. 選択式問題はコンピューター採点のため、HB 以上の濃さの黒鉛筆またはシャープペンシルでマークシート解答用紙の指定の欄に解答すること。非選択問題についても、HB 以上の濃さの黒鉛筆またはシャープペンシルで答案用紙に明瞭な文字で解答すること。解答枠内に書かれていない解答は得点に加算しない。
6. 解答記入の際、解答の文字が不鮮明であったり、書き直しの際に直すべき文字が消えずに残っていたり、解答用紙が皺になる、汚損する、あるいは問題冊子に解答を記入して解答用紙に記入していない等の状況は、採点に影響する場合がある。この点についての異議は受け付けない。

試験終了時の注意事項

1. 試験終了時は、試験監督者の指示によって直ちに解答を止め、座席で問題冊子、解答用紙の回収、点検が終わるのを待つこと。試験監督者が退

室を許可するまで、筆記用具を手にして記号をつけたり、試験問題をメモしたり、勝手に席を離れてはならない。

2. 受験者が退室する前に、試験監督者が問題冊子、解答用紙を回収・点検する。受験者はこれを試験実施教室の外に持ち出してはならない。違反した者は、受験資格を取り消し、VTS の著作権を侵害したとみなし、5 年にわたり本試験への受験を認めないほか、場合によっては法的措置をとることもある。
3. 受験者は問題冊子・解答用紙等を提出して退室したあと、試験実施教室付近に留まったり、声を挙げたり、あるいは解答を読み上げたりするなどして実施教室内の受験者に解答を教えてはならない。制止に従わない場合は、受験資格を取り消すことがある。

これらの注意事項に挙げられていないことであっても、不正行為や不規則行為あるいは試験の公平性、他の受験者の権利に影響を及ぼすような行為があった場合、試験監督者が記録し、あらためて VTS が事情を勘案して処分を決めることがある。